

周南市総合教育会議

学校の業務改善 について

周南市教育委員会

国（文部科学省）の動向

学校現場における 業務の適正化に向けて

次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の
在り方と業務改善のためのタスクフォース報告
（骨子）

平成28年6月

日本におけるこれまでの 学校と教員の姿

教員が教科指導・生活指導・部活動指導等を一体的に行う「**日本型学校教育**」は国際的に高く評価され、子供の人格的成長に大きな役割

一方で・・・

○ 複雑化・多様化する課題が教員に集中し、授業等の教育指導に専念しづらい状況に。

○ 従来の固定化された献身的教員像を前提とした学校の組織体制では、質の高い学校教育を持続発展させることは困難。

教員の一日あたりの学内勤務時間（平日）

平日	小学校			中学校		
	28年度	18年度	増減	28年度	18年度	増減
校長	10:37	10:11	+0:26	10:37	10:19	+0:18
副校長・ 教頭	12:12	11:23	+0:49	12:06	11:45	+0:21
教諭	11:15	10:32	+0:43	11:32	11:00	+0:32
講師	10:54	10:29	+0:25	11:17	11:04	+0:13
養護教諭	10:07	9:38	+0:29	10:18	10:01	+0:17

<増加している業務（教諭）>

小学校：授業（27分）、学年・学級経営（10分）

中学校：授業（15分）、授業準備（15分）、成績処理（13分）、学年・学級経営（11分）

平日 （教諭）	小学校			中学校		
	28年度	18年度	増減	28年度	18年度	増減
学内勤務	11:15	10:32	+0:43	11:32	11:00	+0:32
持ち帰り	0:29	0:38	-0:09	0:20	0:22	-0:02

教員の一日あたりの学内勤務時間（土日）

土日	小学校			中学校		
	28年度	18年度	増減	28年度	18年度	増減
校長	1:29	0:42	+0:47	1:59	0:54	+1:05
副校長・ 教頭	1:49	1:05	+0:44	2:06	1:12	+0:54
教諭	1:07	0:18	+0:49	3:22	1:33	+1:49
講師	0:56	0:17	+0:39	3:12	1:25	+1:47
養護教諭	0:46	0:07	+0:39	1:09	0:19	+0:50

<増加している業務（教諭）>

中学校：部活動（1時間4分）、成績処理（10分）

土日 （教諭）	小学校			中学校		
	28年度	18年度	増減	28年度	18年度	増減
学内勤務	1:07	0:18	+0:49	3:22	1:33	+1:49
持ち帰り	1:08	1:26	-0:18	1:10	1:39	-0:29

諸外国の教員の担当業務

業務内容	アメリカ	イギリス	中国	ポ ール シン ガ	フ ラン ス	ド イツ	韓 国	日 本
登下校の指導・見守り	×	×	×	×	×	×	×	△
給食・昼食時間の食育	×	×	×	×	×	×	○	○
校内清掃指導	×	×	○	×	×	×	○	○
授業に含まれないクラブ 活動、部活動の指導	△	×	○	△	×	△	△	○

国立教育政策研究所

「学校組織全体の総合力を高める教職員配置とマネジメントに関する
調査研究報告書」（2017）

目指すべき次世代の学校と教員の姿

- 教員が総合的な指導を担う日本の学校の特徴を生かしつつ、日本のこれからの時代を支える創造力を育む教育へと転換するとともに、複雑化・困難化する課題に対応できる「次世代の学校」を構築していく必要
- 教職員体制の整備充実を図るとともに、事務職員や専門スタッフ等が学校運営や教育活動に参画していく「チーム学校」の実現を図る必要
- 教員が子供たちの指導に専念できる環境を整備し、誇りや情熱を失うことなく使命と職責を遂行し健康で充実して働き続けることができるよう、教員が担うべき業務を大胆に見直すとともに、働き方を改善することで、ワーク・ライフ・バランスの実現を果たす必要

国の主な改善方策の4つの柱

1. 教員の担うべき業務に専念できる環境を確保する

- ◆ 教員の従来業務を普段に見直す
- ◆ 学校給食費等の学校徴収金会計業務の負担から教員を解放する
- ◆ 統合型校務支援システムを整備し、校務を効率化・高度化する

2. 教員の部活動における負担を大胆に軽減する

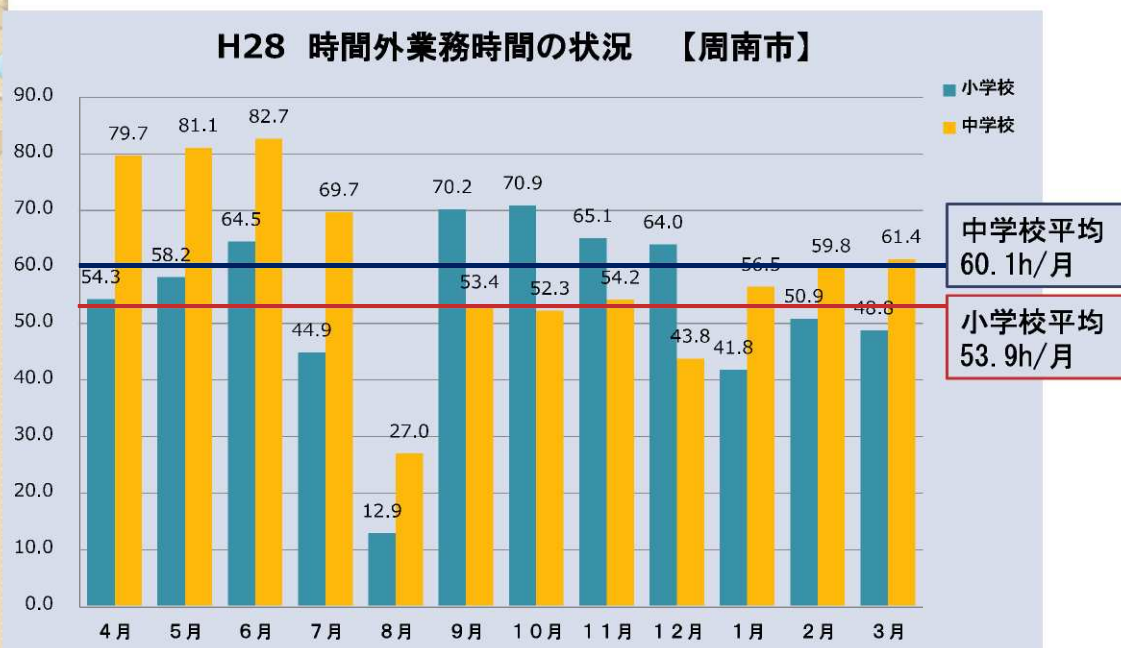
- ◆ 休養日の明確な設定等を通じ、部活動の運営の適正化を推進する
- ◆ 部活動指導員の配置など部活動を支える環境整備を推進する

3. 長時間労働という働き方を見直す

4. 国、教育委員会の支援体制を強化する

周南市の教職員の状況

本市の状況



本市の状況

時間外の主な業務

<小学校>

- ① 教材研究 (36.0%)
- ② 学年・学級の業務 (32.0%)
- ③ 校務分掌 (16.0%)

<中学校>

- ① 部活動 (74.3%)
- ② 学年・学級の業務 (11.9%)
- ③ 校務分掌 (8.0%)

本市における学校支援の取組

- 1 生活指導員、介助員の配置
- 2 学校図書館司書、図書館指導員の配置
- 3 ALT（外国語指導助手）の配置
- 4 スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置

1 生活指導員、介助員の配置

<生活指導員>

特別支援学級に在籍する児童生徒や通常学級で、学校生活上特別な配慮を必要とする児童生徒の補助を行う。

例) 集団の中では落ち着いて行動することが困難な児童生徒に寄り添う

<介助員>

特別支援学級に在籍する児童生徒や通常学級で、学校生活上特別な支援を必要とする特定の児童生徒の介助を行う。

例) 教室移動の際の歩行支援、車いす補助

生活指導員、介助員の配置状況

	生活指導員				介助員			
	小学校		中学校		小学校		中学校	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
H27	22	48	9	17	4	5	1	1
H28	21	50	9	18	4	5	0	0
H29	21	53	9	19	4	7	1	1

☆ 学校のニーズは年々高まっている ☆

2 学校図書館司書、学校図書館指導員の配置

<学校図書館司書>

- 学校図書館担当者（司書教諭）の補佐
- 図書館経営の補佐
- 夏休みの図書館開放への協力
- 学校図書館活用推進の助言・情報提供
- その他

<学校図書館指導員>

- 学校図書館担当者（司書教諭）の補佐
- 図書館に経営の補佐
- その他

学校図書館司書、学校図書館指導員の配置状況

<学校図書館司書(1校に1人配置)>

小学校7校、中学校2校に9人配置

<学校図書館指導員(2校に1人配置)>

小学校20校、中学校12校に16人配置

3 ALT（外国語指導助手）の配置

- 中学校の英語、小学校（5、6年生）の外国語活動に、日本人担当教員の助手として参加（チーム・ティーチング）
- 中学校は1クラス年140時間のうち、17.6時間程度（約12.6%）参加
- 小学校は1クラス年35時間のうち、27.6時間程度（約78.9%）参加
- 小学校の新学習指導要領が2020年度（平成32年度）から実施
 - 3、4年生に週1時間の外国語活動が導入
 - 5、6年生に週2時間の外国語科が導入

小学校の外国語活動の授業時数

	1クラス当たりの年間授業時数			
	H29	H30	H31	H32～
	【現行】	【移行期間】		【全面实施】
3年生	0	15	15	35
4年生	0	15	15	35
5年生	35	50	50	70
6年生	35	50	50	70

★ 学習指導要領が全面实施となる平成32年度に、1クラス当たりの授業時数が**35時間増加**する

本市の状況

4 スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置

スクールソーシャルワーカー（SSW）

児童・生徒を取り巻く環境に注目して問題の解決を図る専門家

SSWの配置数

平成27年度	5人
平成28年度	6人
平成29年度	6人

<H28実績>

- 延べ254回(350.5時間)派遣
- 対象児童生徒数 30名
(小学生13名、中学生17名)
- ケース会議 39回
- 支援中24件、好転3件

スクールカウンセラー（SC）

児童・生徒本人の心の問題に注目し、学校内の相談室を拠点としてより密度の濃い相談を行う

学校の業務改善に向けた 県内他市の取組状況

- ① 夏季休業中の「学校閉庁日」の設定
→ 県内6市で実施
- ② 部活動指導員の配置
→ 宇部市が制度化して実施
- ③ 校務支援員（仮称）の配置
→ 美祢市が「業務支援アシスタント」として配置
- ④ 給食費などの公会計への移管
→ 長門市が公会計で支払い、山陽小野田市が平成32年4月からの導入を目指している

夏季休業中の「学校閉庁日」

平成29年度、本市以外の12市のうち6市で実施

6市の実施状況

【岩国市】

- 8月14日～16日の3日間
- この期間に週休日が含まれていても、新たに設定はしない

【柳井市】

- 8月14日～16日の3日間
- 来年度はさらに増やす予定

【山口市】

- 8月13日～15日の3日間
- この期間に週休日が含まれていても、新たに設定はしない

【宇部市】

- 8月14日～16日の3日間
- 「当番不在日」という名称で実施

【美祿市】

- 8月13日～15日の3日間
- この期間に週休日が含まれていても、新たに設定はしない

【長門市】

- 8月13日～16日の4日間
- この期間に週休日が含まれていても、新たに設定はしない

★ 本年度実施した6市は、いずれも、**お盆の時期に3日から4日設定**し、その期間に土曜、日曜が含まれている場合、新たに設定はしない形で実施している。

【光市】

- 8月10日～15日を「リフレッシュ・ウイーク」とし、会議や研修等の位置付けず、教職員が休暇を取りやすい環境づくりを進めるよう、小中学校に通知

部活動指導員の配置

宇部市の取組

- **部活動指導員を市の嘱託職員として学校へ派遣することを制度化**
 - ・ 市のスポーツコミッションと連携し、部活動指導員として20名を登録
 - ・ 中学校へのニーズ調査を行い、派遣者を決定
 - ・ 登録者全員に部活動の教育的意義等について研修を実施
 - ・ 6月1日から市内7中学校へ10名の部活動指導員を派遣
- **部活動指導員が単独で試合引率や監督ができるよう、宇部市中学校体育連盟が、規約を改正**

部活動指導員配置の成果(宇部市)

- 部活動指導員を配置することで、部活動指導の時間が削減されている
- 部活動指導員が監督や単独での引率ができるため、休日の指導時間の削減に大きな成果が現れている
- 部活動指導の週一日以上の休養日や「ノ一部活デー」「ノー残業デー」の設定により、教職員の意識が少しずつ変化し、時間外業務時間の削減につながっている
- 教職員の負担軽減により、学習指導や生徒指導、学校行事の運営等にゆとりをもって取り組むことができ、日々の授業改善や生徒指導上の問題対応に力を尽くすことができている

業務アシスタントの配置

美祿市の取組

- **業務アシスタントを市内全中学校（6校）に配置し、管理職の指導と業務改善推進リーダーのサポートのもと、業務を行う**
 - ・ 4名配置（週5日、1日4時間）
 - ・ 1校勤務2名、2校勤務（兼務）2名
- **業務内容**
 - ・ メール印刷整理
 - ・ ホームページ作成
 - ・ 掲示物張り替え
 - ・ 賞状の浄書
 - ・ プリント印刷、仕分け
 - ・ 各種会計等の補助
 - ・ 印刷室の整理整頓
 - ・ 職員回覧物準備 等

業務アシスタント配置の成果（美祢市）

○ 1校1名専任の業務アシスタント配置校において、業務改善に効果が見られる

○ 教員の声

「業務アシスタントにメール開封・印刷・整理をしてもらえることで、気持ちが楽になり、他の仕事に当たることができる」

「時間を要する作業をお願いできることで、その分ゆとりをもって、目の前のやるべき仕事に向かうことができている」

「子どもたちに対する心のゆとりにも、少なからずつながっていると思われる」

「非常によく気をつく方で、細かい雑務が相当量減っている」

学校の業務改善に向けて

★ 各学校の取組の推進

○ ノー部活デー、ノー残業デー等

★ 市教委による学校支援

○ 生活指導員、介助員の配置

○ 学校図書館司書、指導員の配置

○ ALTの配置 ○ SSWの配置

★ 夏季休業中の「学校閉庁日」の設定

★ 部活動指導員の配置

★ 業務アシスタント（仮称）の配置

★ 給食費などの公会計への移管